

とよやま

No. 170
議会だより
9月定例会



私たち、ドキドキの子ども議員

(関連記事P2・3)

届け!子どもたちの声.....P2・3

議案PICK UP P5・6

8人が一般質問 P7~15

輝く人を紹介 町のキラッと... P16

議会のインターネット中継が始まりました

- ・定例会(初日)
 - ・一般質問
 - ・議案質疑(3月のみ)
 - ・定例会(最終日)
- ご覧いただけます

豊山町議会
【公式】
チャンネル



町のホームページから
会議録がご覧いただけます

<https://www.town.toyoyama.lg.jp/>



届け！子どもたちの声



豊山町の未来を担う子どもたちに議会や行政について関心と理解を深めてもらうため、8月23日に「子ども議会」を開催しました。10人の子ども議員、それぞれが普段感じている疑問や考えていることを質問しました。

豊山町議会
【公式】
チャンネル



山口 蓮 議員

新しく建つ中学校について

- Q 中学校の改築工事スケジュールは。工事で運動場が使えなくなるなら、運動ができる手立てを考えて欲しい。
- A いつから工事を始めるかは決まっていない。工事を行う準備や建設など、6年はかかる。できる限り影響を少なくできるように、考えていく。

道の雑草について

- Q 歩道に草が出てきてケガをしたり、車と雑草をよけなければいけない。除草回数を増やせないか。また、地域みんなで除草をできないか。
- A 地域の方の協力はとても良い提案である。自宅周りの道路をきれいにする取り組みが、町全体に広がっていく事例を勉強をする。



松岡 花芽 議員



縄田 健人 議員

スカイプールに代わる学校プールの開放について

- Q スカイプールが今年で終わるので、遊べなくなってしまう。プールがすごく好きな人がいっぱいいる。小中学校のプールを開放してはどうか。
- A どのプールを開放するのが一番良いかを考える。スカイプールの代わりに子どもたちが楽しく遊べる施設を検討している。

校庭開放の時間変更について

- Q 現在の校庭開放の時間は5時までだが、家に帰ってすぐ出発しても30分程度しか遊べない。夏場の校庭開放を30分延長できないか。
- A 季節によって時間をどれほど開放するか、日の入りの調査や他市町など参考にし、時間延長に向けて学校などと調整していきたい。



保科 匠音 議員



伊藤 境舵 議員

豊山町に新しい遊べる場所を

- Q 公園は狭くて、おにごっこはできない。友だちと楽しく遊ぶために、社教センターの無料開放をしてはどうか。また、なかよし山（豊山小学校）で遊びたい。
- A すぐに無料開放するのは少し難しいので、小学校の運動場を利用して欲しい。なかよし山の利用は、安全第一に考え、学校と相談する。

子ども議会

9月定例会

議案PICKUP

一般質問



阿部 陽人 議員

カラスのゴミあらしについて

- Q カラスによりゴミがあらされ、歩きにくかったり、車が通りにくい。町民にしっかりネットをかけるよう、啓発できないか。
- A 今年8月から無料でカラス除けネットを貸し出しする事業を始めた。広報とよやまやSNSなどでしっかりと周知していく。

犬と人が住みやすい町について

- Q 神明公園に、普段はドッグランとして、災害が起きた時はペットと一緒に避難できる場所を作れないのか。
- A 基幹的広域防災拠点の隣に町が整備する臨空第2公園は、災害時にはペットを受け入れる場所を確保する計画である。



今枝 佳来 議員

豊山町の防犯灯について



井尻 和秀 議員

- Q 夏休みに親と一緒に夜のパトロールをしたら、暗いので少し怖かった。町全体が明るくなれば、安全意識も高まるのではないか。
- A 地域の了解があれば、防犯灯をつけることもある。「一戸一灯運動」という防犯対策もあり、ご協力いただき、安心安全なまちづくりを進めていきたい。

安心安全な町づくりについて

- Q 安心安全な町づくりのために、みんなであいさつ運動を行えば、地域の結束を高め、犯罪者が近づきにくくなると思うが、どうか。
- A 昨年「あいさつ運動・ごみ拾い運動」宣言をした。地域のみなさんのご協力をいただきながら、安心して暮らせる町づくりを進める。



佐藤 豊久 議員

豊山町や通学路をきれいにすることについて



平田 隼敏 議員

- Q 僕は通学団の班長だが、通学路にゴミがたくさん落ちている。一年生が転んでケガをしたり、自転車がパンクする可能性がある。きれいにしてはどうか。
- A 令和4年に「きれいなまちづくり条例」を制定した。ゴミは回収容器に入れるか、自宅へ持ち帰ることを定めている。みなさんと一緒にきれいな町にしていきたい。

子ども議会の日程

- 7月26日 第1回事前研修会
任命式、町議会の役割について、施設見学
- 8月 9日 第2回事前研修会 質問書の作成
- 8月21日 リハーサル
- 8月23日 子ども議会開催

がんばるぞー
おぉー!!



9月定例会のあらまし

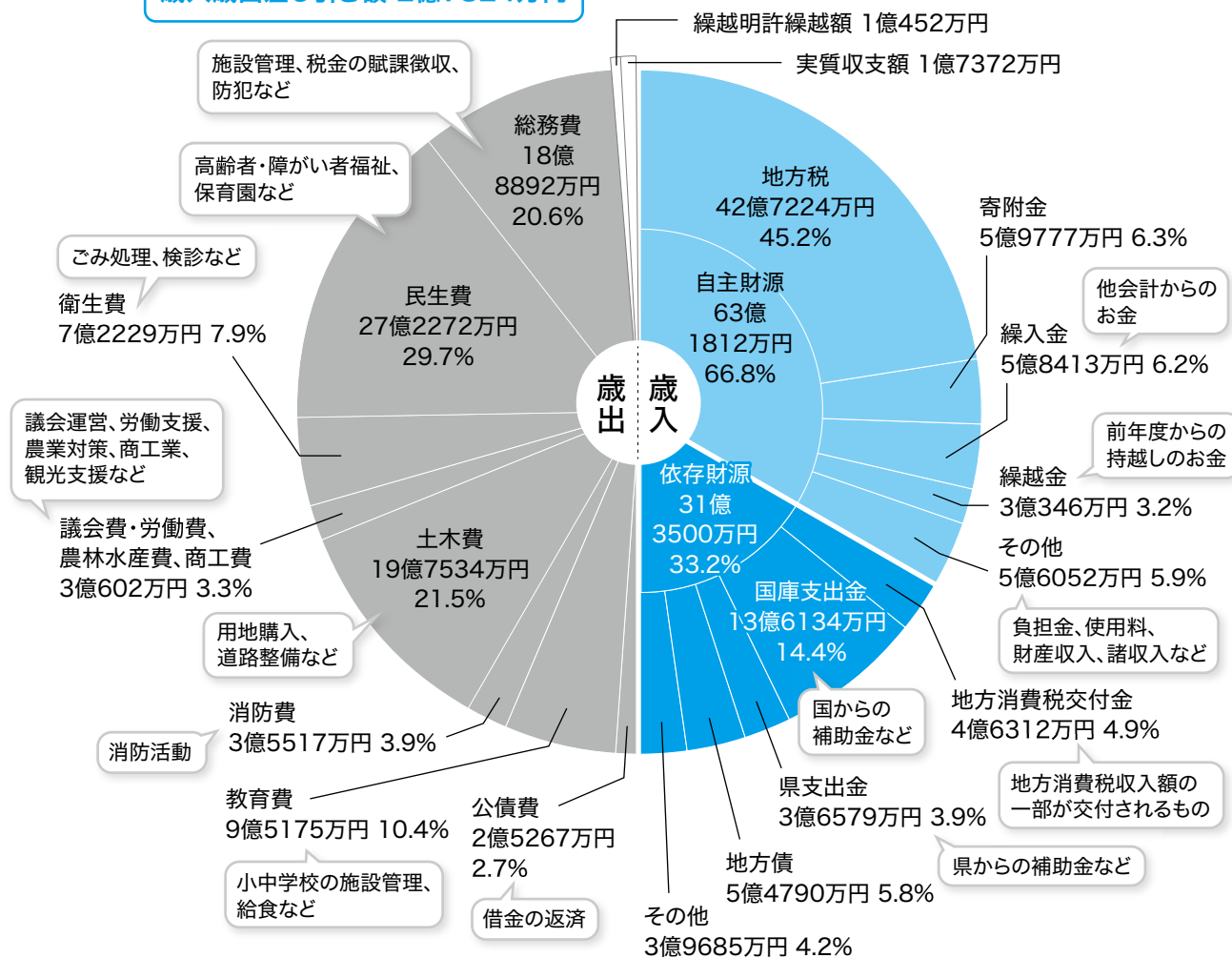
令和6年第3回定例会が9月2日から18日まで開かれました。財政健全化判断比率などの報告2件、専決処分2件、指定管理者の指定1件、人事案件2件、条例の制定1件、条例の一部改正1件、規約の変更1件、令和5年度一般会計・特別会計決算6件、令和6年度一般会計・特別会計、下水道事業会計補正予算6件、財産取得の追認2件、意見書の提出など25議案が上程され、いずれも原案通り承認・可決されました。

一般会計

歳入決算額 94億5312万円

歳出決算額 91億7488万円

歳入歳出差し引き額 2億7824万円



◎比率は、決算額に対する構成比です

特別会計決算状況

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	12億5351万円	12億3854万円
後期高齢者医療	2億4671万円	2億4540万円
介護保険	11億4712万円	11億2309万円
介護サービス事業	704万円	501万円
公共下水道事業	5億7990万円	5億3089万円
合計	32億3428万円	31億4293万円

◎万円で端数調整をおこなっています

議案 PICK UP

定例会で審議された議案や事業をピックアップして、
その中身や質疑を詳しく説明します

議 案 一 覧

令和6年第3回定例会(9月)

番 号	議 案	審議結果
承認第4号	令和6年度豊山町一般会計補正予算（専決第1号）の専決処分	賛成8反対1承認
承認第5号	令和6年度豊山町後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第1号）の専決処分	賛成8反対1承認
議案第45号	町立青山保育園及び総合福祉センター北館さざんか等の指定管理者の指定	全員賛成可決
議案第46号	監査委員（堀尾博樹）の選任	全員賛成同意
議案第47号	教育委員会委員（佐藤正司）の任命	賛成7反対2同意
議案第48号	犯罪被害者等支援条例の制定	全員賛成可決
議案第49号	国民健康保険条例の一部改正	全員賛成可決
議案第50号	愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更	全員賛成可決
議案第51号	令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第52号	令和5年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第53号	令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第54号	令和5年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第55号	令和5年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第56号	令和5年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第57号	令和6年度一般会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
議案第58号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
議案第59号	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第60号	令和6年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第61号	令和6年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第62号	令和6年度下水道事業会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
議案第63号	財産の取得の追認	賛成8反対1可決
議案第64号	財産の取得の追認	賛成8反対1可決
発議第2号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出	賛成8反対1採択
発議第3号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出	賛成8反対1採択
発議第4号	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出	賛成8反対1採択

議長は議決には加わりません 太字は次頁に掲載

犯罪被害者等支援条例の制定

- 目的は、犯罪被害者などが必要とする施策を総合的に推進し、心に寄り添い、権利利益を保護し、町民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現に寄与すること

❓ 条例制定に至った背景や思いを聞く。

Ⓐ ひとたび犯罪に遭うと、命や財産を奪われるといった直接的な被害に加え、周囲の配慮に欠けた対応などによって、間接的な被害にも苦しめられたりすることもある。行政だけでなく、町民や事業者を含めた地域全体で犯罪被害者の方を支える取り組みを推進していくことが重要である。



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギュっとちゃん」

令和5年度一般会計決算

令和5年度の総括

❓ 2年連続の赤字で、その額も大きくなっており若干懸念される。今後の財政運営について聞く。

Ⓐ 今回の結果を真摯に受け止め、国や県からの補助金や新たな財源の確保により一層努めていく。町民の皆さまの暮らしを最優先とし、必要な投資はきちんと行いながら、既存事業の見直しの徹底や事務の効率化による経費節減など、適正な財政運営に職員一丸となって取り組んでいく。

令和5年度介護保険特別会計決算

❓ サービス給付費の増加の理由を聞く。

Ⓐ その要因は要介護認定者数が41人増加したことと、1件あたりの給付費が高額な施設に入所しての施設介護サービス給付費が増加したためである。サロンや講座の参加や介護ボランティアポイント制度に登録いただき、イベントへのお手伝いなど活動の場が広がるように周知し、介護予防に取り組んでいく。



一般質問
ラインナップ

あなたの想い、議会へ

一般質問とは、町が行っている事業や計画について議員が住民に代わって質問したり要望を伝えたり、今後の町のあり方について議論、提言することである。

9月9日(月) 8人が質問に立った。
一問一答方式で、制限時間は答弁を含み1人60分。

議会だよりには、太字のみ掲載

1	岡 島 剛	●児童遊園に健康遊具の設置を ●鈴木町長の町政への思いについて	P. 8
2	岡 島 政 信	●小中学校の水泳授業の在り方について	P. 9
3	岩村みゆき	●災害対応力の強化を求める ●産後ケア事業の現状は	P.10
4	作 野 桂 子	●町民活動の活性化を ●福祉作業所の見直しを	P.11
5	熊 沢 直 紀	○今後の財政運営について ●中学校校舎の建替計画について ●スカイプール廃止について	P.12
6	坂 田 芳 郎	●町政一期4年を検証する	P.13
7	岩 下 竜 也	●放課後対策事業の充実について ●高齢者の見守りにについて	P.14
8	大 口 司 郎	●久田良木川排水機場について ●豊山中学校の体育館空調について	P.15

◎全文記録（議事録）は、12月上旬に町ホームページに掲載しますのでご覧ください。



おかじま つよし
岡島 剛 議員

OKAJIMA Tsuyoshi

Q. 児童遊園に健康遊具の設置を

A. 遊具の取り替え時に判断

児童遊園は、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、また情操を豊かにすることを目的として設置されている。しかし、少子高齢化を考えると、児童だけでなく、多くの町民が利用することで世代の違う人たちが交流できる場となることが望まれる。

Q HPでは令和6年8月1日現在で、9力所の児童遊園でネーミングライツが契約されている。契約されている9力所は、比較的高利用率の高い児童遊園ではないかと考えるが、町の見解はどうか。

A 生活福祉部長
利用率は把握していないが、ネーミングライツは、企業の地域貢献によるイメージや認知度の向上を図ることができるメリットがある。そのため、児童遊園を利用する人や地域の方などに企業名を見聞きする機会を増やすことができ、宣伝効果が期待できる場所を選択肢の一つにしているのではないかと考える。

Q 町内に健康遊具を設置している児童遊園はあるのか。また、健康遊具を設置することにより、大人も利用することができ利用率の増加、将来的にフレイル予防にも繋がるのではないかと。ひいては、利用者が増えれば防犯対策にもなると考えるが、児童遊園に健康遊具を設置してはどうか。

A 生活福祉部長
本町では、産業文化会館児童遊園に背伸ばしベンチを設置している。今後は、児童遊園の改修整備や老朽化した遊具の取り替えなどの際に地域のご意見を伺いながら判断していく。



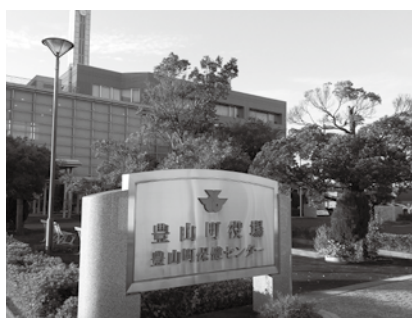
背伸ばしベンチ

Q 鈴木町長は、どのような思いで第5次総合計画の後期基本計画や臨空第2公園の基本計画を進めているのか。

A 総務部長
後期基本計画は、情勢の変化や前期基本計画での課題を踏まえ、まちの将来像である「一人ひとりが輝く 暮らし豊かな アーバンビレッジ」を実現できる計画にしたい。

臨空第2公園は、災害時の避難所としての機能を基本に、平常時には、隣接する愛知県の防災公園や本町の神明公園とともに、憩いの場としてだけではなく、スポーツ大会やマルシェなどの賑わいイベントが開催され子どもからお年寄りまで幅広い世代が集う場となる事を考えている。

A.Q. 引き続き町政を担う思いは環境が許せば町政を担いたい



11月10日に町長選挙が執行される

Q 令和6年11月10日、任期満了に伴う豊山町長選挙が執行される。町長は、引き続き町政を担う思いはあるのか。

A 町長
多くの課題に取り組むにあたり、環境が許せば、引き続き町政を担わせていただき、職員、議員、町民の皆さまとともに、夢のある豊山町の未来を創っていければと考えている。



おかじまさのぶ
岡島政信 議員
OKAJIMA Masanobu

Q. 水泳授業の外部委託導入を

A. 他自治体を注視し検討する

コロナ禍において、水泳授業（実技）が消えた。新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更され、水泳授業が戻った。教員は、児童生徒と向き合う時間を大切にしている。その一方で教職員の未配置や教員不足が時々新聞紙面に取り上げられているため、当町はどうか聞く。

Q 教員の多忙化、教員不足が問題となっている。教育委員会は、教員の働き方改革にどのような対策をしたか。

A 教育参事
本町は教員の未配置はなく、教職員の定数に沿った組織体制のもと学校運営を進めている。

学校経営や組織体制などの観点から、働き方改革を進めてきた。例えば、保護者向け緊急連絡アプリや学校徴収金の自動引き落とし、デジタル採点システムの導入などの取り組みで、教員の勤務時間外の在校時間は、年々減ってきている。

Q 教員は、プール施設の安全管理や水泳授業での児童生徒の見守りなど必然的に行う事項での負担が大きく感じる。どのような対策をしているか。

A 教育参事
教員は、ろ過機の確認や水質管理、設備の安全点検など日常管理を行っている。

また子どもの安全管理では、既往症の確認や当日の健康状態のチェックなど、体調面を把握し、常に緊張感をもって水泳指導にあたっている。水泳指導する教員の負担軽減は、設備管理やプール清掃を民間委託し、子どもの安全管理は、多くの教員で指導する体制をとっている。

Q 愛知県では7月1日から19日まで7日間、熱中症警戒アラートが発令された。学校ではどのような対応をしているか。

A 教育参事
国から出ている「熱中症予防に向けたガイドライン」

によると、熱中症警戒アラートが発令された場合は、暑さ指数（WBGT）に応じて激しい運動は控え、運動を中止することになっている。

水泳指導では、熱中症対策として活動時間の短縮やこまめな休憩・水分補給の時間確保、日陰など避暑する場所の設置などを行っている。

水泳に関する授業は、年間10時間実施となっているため、実技指導が中止の場合、別日に振り替え、当日は教室で水泳に関する内容や他教科に切り替えるなどの対応をしている。

Q 笹川スポーツ財団の調査で、2010年から2021年の間、4歳から11歳の子どもの習い事で1位は水泳である。

愛知教育大学大学院教育研究科の論文「教員へのアンケート結果」によると、泳力差があるため指導が困難と感じる教員が多く、専門の外部指導員の動員や指導者の増加など

望む声が多いとされていた。こうした声や状況を踏まえると外部講師・外部委託による水泳授業の導入を進め、教員の負担軽減、児童生徒の安全確保に繋がると考える、町の考えは。

A 教育参事
学習指導要領には、水泳は体育授業の一環として実施することが明記されている。

民間委託は、水泳指導に関する課題の解決や教員の働き方改革を進める一つの方法であると思う。ただ学校教育は、あくまでも教員が主体的に指導するもので、公教育と民間との連携は慎重に進める必要がある。今後は、他の自治体の動向を注視し、検討を進める。





いわむら
岩村みゆき 議員

IWAMURA Miyuki

Q. 災害対応力の強化を

A. 受援計画策定を検討

能登半島地震では災害対応に係るさまざまな課題が明らかになった。決して能登半島地震を他人ごとにしてはならないと思い、質問する。

◎ 仮設住宅の早期整備と確保の現状はどうか。

◎ 産業建設部長
A 応急仮設住宅については、災害救助法の適用を受けた市町村からの要請で愛知県が設置することになっている。応急仮設住宅が必要となった場合には、速やかに建設用地を確保したうえで県に対し設置を要請していく。

また、令和4年9月に災害時における住宅確保困難者へ賃貸型応急仮設住宅の供与などについて、愛知県住宅供給公社と災害協定を締結しており、被災時には住宅の供給が受けられることになっている。

◎ 職員自身も被災者になる可能性があり、限られた職員での対応になる。発災時に各方面からの支援の申し出

に円滑に対応する必要がある。受援体制の計画は。

◎ 企画調整部長

A 大規模災害時、町単独の対応は困難なものになる。災害発生直後から、被災地以外の自治体より、災害対策基本法や災害時対応協定に基づき、職員の派遣、物資の提供など、さらに事業者やNPO団体、ボランティアなどによる支援も多く行われる。応援要員の迅速・的確な受け入れを行うため「受援計画」の策定は不可欠であると考えている。現在、策定に向けて検討中である。



災害協定を締結した第一住宅（イメージ図）

Q. 産後ケア事業の現状は

A. 自身に合ったサービスを利用

◎ 産後ケア事業の内容は。また、課題はあるか。

◎ 生活福祉部長
A 医療機関で宿泊してケアを受けるショートステイ型と日帰りで受けるデイサービス型、自宅に助産師が訪問するアウトリーチ型の3種類を実施している。それぞれのサービスにおいて、母親の健康管理や産後の生活のアドバイス、授乳方法の指導、育児相談などを行っている。

令和3年度開始当時は医療機関が少なく、連続での空きベッドが確保できないなど、医療機関の確保が課題であった。現在は7力所と契約している。また、令和6年度からアウトリーチ型を開始したことで、利用者が自身に合ったサービスを選んで利用いただけるようになった。

◎ 昔とは家族の形態が変わってきている。誰でも気軽に利用できる事業になるべきと考える。豊山町産後ケア事業実施要綱の対象者について見直しをお願いしたい。

◎ 生活福祉部長
A 国は令和5年度に対象者について「心身の不調又は不安がある者」から「産後ケアを必要とする者」へ見直した。本町においても令和7年度に向け要綱を見直し、対象者の拡大を図ってまいりたい。





さく の けい こ
作野桂子 議員
SAKUNO Keiko

Q. 町民活動の支援内容、充実を

A. 活性化に向けて検討する

8月の子ども議会で、新しいイベントや除草について質問があり、町長は「町民が自発的に動いて欲しい」という趣旨の発言をされた。また、にじいろ食堂の夏休みの活動についても、SNSで「いつした活動が広がっていく町になればと支援していきたい」と思います」と、投稿をされた。

本当に困った方、ひとり親世帯などに限定して食糧支援をしている子ども支援団体OHANA（おはな）の立ち上げに関わったが、何から始めたら良いのか分からず、物資や資金集めにも苦労していた。



OHANAのメンバー

町民の生活課題が多様化する中で、町民活動が活発になれば、助けを必要としている

方をもっと適切な形で支えることができるかと考える。

④ 住民支援センターの設置や町民活動の支援内容を充実してはどうか。

企画調整部長

① 住民活動や活動したい人の相談窓口、② イベントや会員募集など住民活動の情報提供、③ ミーティング、チラシ

づくりなど活動の場の提供である。現在実施している内容

や今後、実施可能な内容を整理し、活動の活性化に向けた取り組みの検討を進める。

⑤ 活動を始めたばかりの団体や、始めようとしている

る団体に補助金を出してはどうか。また、町だけでは解決できない課題に取り組む団体を継続的に支援してはどうか。

企画調整部長

他市町のさまざまな支援事業の情報収集に努め、支援体制の充実にフィードバックできるように調査研究する。

Q. 福祉作業所移行の見直しは

A. 改めて、あり方を検討

日本では、2006年までは自治体独自の補助金制度で作業所などが運営されていたが「障害者総合支援法」の施行後、多くが法に基づく事業体に移行してきた。

豊山町は2021年に、豊山町障害者福祉計画において「福祉作業所を就労継続支援B型の事業所（B型事業所）に移行することを検討する」と発表した。その後「2025年4月に開所する」と発表した。

福祉作業所が利用者のニーズを踏まえ、前進していくことは、とても嬉しく思っているが、今後、福祉人材不足は更に深刻化する。また、多様化・複雑化している福祉ニーズに対応できる包括的な取り組みを進め、共生社会を実現する必要があると考える。



⑥ 計画当初は町内になかった民間のB型事業所が6月に設置された。

福祉作業所からの移行先として「地域活動支援センター」や「共生型サービス」「民間委託」も視野に入れて再度見直しを検討してはどうか。

生活福祉部長

⑦ ここ数年の間に、さまざまな種類の福祉事業所が開所し、利用される方々の選択肢の幅が広がっている。提案のあったとおり、改めて福祉作業所のあり方を検討する。

Q. 地震の影響を見て 検討しては

A. 早期に行うことが望ましい



くまざわ なおき

熊沢直紀 議員

KUMAZAWA Naoki

◎ 中学校は現在の場所で仮設校舎を作り、建て替えることとした。しかし、現在の中学校は、耐震補強や空調設備、トイレ改修など総額約8億7千万円をかけ運営をしてきている。

当局は今後40年間に公共施設などの改修・建て替えにかかる費用の総額を328億円（青山区防災拠点豊山エリアの実質設備費約38億円は入っていない）と示され、今後、財政運営が緊迫してゆくとのこと。よって、スカイプールを廃止とのこと。

本当に60年で建て替えが必要か。耐震工事も行い、まだ本体がしっかりしており、もう60年ほど延命させるべきではないか。

2024年7月に校長と教育委員会事務局長同伴のもと、豊山中学校を見学したが、内装が雨漏りにより、部分的にはがれていたり、さびている箇所が見受けられたが、部分的な補修で十分と考える。学校本体は頑丈であり、内装

外装を塗りなおせば新築同様になる。

耐用年数は高品質の場合は80年から120年とされている。

2024年7月の23日から25日にかけ珠州市と輪島市の小中学校数校を視察したが、民家の倒壊はひどいものであったが、マグニチュード7.6、震度7の震災にあってもびくともせず普通に運営をされていた。豊山町は震度6弱とのこと。

世間では2030年までに南海トラフ地震が必ず起こるといわれている。南海トラフ地震の影響を見てから検討するのが適切と思うが町長の所見を問う。

◎ 教育委員会事務局長

改築時期は現在検討中で、できる限り早期に行つことが子どもたちにとって望ましいことであると考えている。

Q. プールの廃止は必要ないのでは

A. 廃止の考えは変わっていない

◎ 豊山小中学校の建て替えが数十年先になれば、今後40年で328億円の問題は解消され、プールを廃止する必要がなくなるのではないかと。ここ数年で約6000万円の修繕費をかけ運営してきた築33年のプールを閉館するのは、子ども施策の後退となるのではないかと。給食センター同様跡地利用も見いだせず放置しておくのか。

公共施設を有効利用してゆくのが行政の務めではないかと。町長の所見を問う。

◎ 教育委員会事務局長

これまで答えたとおり廃止の考えは変わっていない。

◎ 町長

プール跡地の活用も含め、方向性が決まるまでは休止とする。



休止となったスカイプール



さかた よしお
坂田芳郎 議員

SAKATA Yoshio

Q. 町政一期4年を検証する

A. 行政も住民も一緒になって

指摘を受け、お尋ねする。

令和2年10月、鈴木くにお現町長は4年間の副町長を歴任した後、同年11月1日執行された町長選挙に向け、次なる公約を掲げ出馬・当選した。新たな行政最高責任者の誕生である。

スローガンとして、「住みたいまち、住み続けたいまち」を指してと称して「一人ひとりが大切にされる新しい豊山を作る6つの約束」なる施策を打ち出した。

①町長の報酬を10%削減します。②18歳までの医療費を無料化します。③豊山中学校を移転・新築します。④特別養護老人ホーム・障がい者グループホームを設置します。

⑤広域防災拠点を設置し、平時には、スポーツ施設、ふれあいの場として新たな賑わいを創出します。河川整備、排水機場の増強など、総合的な治水対策を実施します。

⑥名古屋市内宮バスの乗り入れをすすめます。以上であった。

ここで尋ねる。

任期満了を間近に迎え、改めて各々の進捗状況を伺う。

総務部長

報酬につきましては、令和3年4月から関係条例を制定し、給料の10%を減額している。18歳までの医療費につきましては、令和3年10月から無料化している。中学校の移転・新築につきましては、令和6年3月に策定した「豊山中学校改築基本計画」において、建築候補地や事業手法などを決定した。

特別養護老人ホーム・障がい者グループホームの設置につきましては、本町を含む圏域内に令和3年に障害者グループホーム「こたち」、令和4年に特別養護老人ホーム「かもだの里」が開所している。町内においてもグループホームをはじめ生活介護やデイサービスなど複数開所している。広域防災拠点等の設置につきましては、現在、愛知県が整備しております基幹的広域防

災拠点の整備にあわせ、避難所機能や賑わい施設を有する「臨空第2公園」についての都市計画決定を行い、整備を進めている。

名古屋市内宮バスの乗り入れにつきましては、令和3年12月に名古屋市内へ要請を行い、その後も関係機関に継続的に要請をしている。

町の皆様にこれだけは解

って戴きたい・ご理解を戴きたかった等、成果・反省も含めて自由に述べられたい。

町長

これまで防災対策の充実に向け、雨の対策を中心に、河川の改修や排水設備の増強等に取り組むとともに、「共助」の強化といった観点から、小学校区自主防災組織の強化にも努めてきた。災害時の「共助」という活動には、地域の町内会の働き、機能が不可欠であり、強化が必要と考える。しかしながら、現実には逆の方向に進みつつあり、コロナ禍を通じて町内会の状況は一

層弱体化が進んでいる。他の人、他者があつてこそ、自分という存在もある。そうした認識をもって、行政も住民の皆さんも一緒になって、町の地域づくり、まちづくりを進めていけたらと考える。



行政も住民も一緒に

本人の申し出により、編集せず原文のまま掲載しています。



いわした たつや

岩下竜也 議員

IWASHITA Tatsuya

Q. 放課後対策事業の充実を

A. 制度のあり方を検討していく

放課後対策事業の充実、子どもたちの未来を支える重要な政策の一つとして、積極的に推進していくべきだと考える。さらに保護者や地域住民との連携を強化し、子どもたちが支援を受けやすい環境を整えることも大切である。

具体的には、放課後に子どもたちが安心して過ごせる施設の整備やプログラムの充実、質の高いスタッフの配置などが「重要」である。現在、放課後児童クラブと放課後子ども教室が実施されている。空き教室や学校施設などを活用した放課後児童クラブの実施や志水小学校と同じような一体型の運営を他の小学校でも検討していくべきではないかと考える。

Q 放課後対策事業のさらなる充実を図るため、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に運営することは検討していくのか。

A 生活福祉部長
志水小学校区だけでなく、

豊山小学校区、新栄小学校区においても、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体化を進めていく。保護者から制度の見直しを望む意見をいただいているので「料金設定」や「利用時間」など制度のあり方についても併せて検討していく。

Q 志水小学校以外の放課後児童クラブは、学校から離れた場所（新栄・北館さざんか、豊山・しいの木）で実施している。今後、学校敷地内や学校により近い場所での実施は考えているのか。

A 生活福祉部長
児童の安全面を考えると、放課後児童クラブの場所については、議員の言われるとおり、学校敷地内や学校により近い場所での実施が望ましいと考える。学校の空き教室の利用や、学校敷地内でのクラブ棟の新設、学校から近い場所での開催など、柔軟に検討していく。

Q. 新たな見守りサービスを

A. 先進自治体を調査・研究

高齢者の見守りは、地域社会の大切な課題の一つであり、各自自治体が積極的に取り組むべき「重要」な政策である。

さらに、高齢者の方々が安心して暮らせる社会を築いていくことが必要である。

例えば、定期的な訪問や電話連絡、身体機能のチェック、緊急時の対応など、さまざまな「見守りサービス」を提供することが重要である。今後、町や地域の方の協力だけでなく、ICTの活用や日常生活の変化から異常を察知するなど、あらゆる形での対策が必要になるのではないかと考える。

Q 高齢者の見守りについては、地域包括支援センターの職員、民生委員や地域の

協力者の方による見守りだけでなく、新たな見守り方法も検討すべきでは。

A 生活福祉部長
現在実施している事業を継続しながら、近年、他の自治体が導入している、日常生活の変化から異常を検知するICTを活用した見守りについても、先進自治体の状況を調査・研究していく。

Q 人に寄り添ったソフト面の施策と施設整備などのハード面の施策、これらの両方の取り組みをバランスよく進めていくことが、町政運営をしていくうえで、更に、地域全体の発展にとっても、重要である。町長の考えは。

A 町長
町民のニーズ、町の課題に必要に応じて連携していく。



おおぐち しろう
大口司郎 議員
OGUCHI Shiro

Q. 久田良木川排水機場について

A. 今後も周知に努める

第2回定例会の久田良木川排水機場性能の質問に対する答弁、説明が一貫していないように感じたので改めて伺う。

Q 排水機場の性能は10年に1回程度発生する降雨とのことだったが、東海豪雨の場合はどうだったのか。

A 産業建設部長
東海豪雨の雨の量は、1時間に97ミリである。

Q 北部市場周辺の浸水の深さはどれくらいか。東海豪雨を想定した場合はどうか。

A 産業建設部長
10年に1回程度発生する降雨では、床上浸水被害は解消される。東海豪雨の想定は不明。

Q 排水機場の完成までの5年間の空白期間の浸水想定は。

A 産業建設部長
北側と東側で50センチから1メートル程。

Q 応援協定の、小牧市などの仕組みを説明願いたい。名古屋市との協定を急いだ事情はどんなことなのか。

A 企画調整部長
応援の要請を書面で提出することとしている。名古屋市との協定は、施設などに限りがあるため。

Q 豊山町の住民などが安全に北部市場に避難できると考えているのか。

安全なら名古屋市民も北部市場へも避難するようにすれば良いのでは。

A 企画調整部長
名古屋市の協定で北部市場などの施設が加わった。今後、より分かりやすい周知に努める。

Q. 中学校の体育館空調について

A. 避難生活の支援に取り組む

令和5年の施政方針において、災害時対応のため豊山中学校の体育館の空調工事の設計を実施したが、工事は予算化されなかった。

町民は南海トラフ巨大地震に大きな不安を抱いている。

Q 現在、工事はどのように考えているか。

臨空第2公園のアリーナとの関連はどうか。災害時の避難収容人数はどうか。
また、社会教育センターアリーナはどうか。

A 教育委員会事務局長
中学校への空調設置の実施時期については現在検討している。

社会教育センターのアリーナについても対応を検討する。

A 企画調整部長
中学校の空調を整備して

いくことが望ましい。また、避難の想定収容人数は500人。

Q 巨大地震だけでなく、台風などの対応のための豊山町民の避難先の環境を充実させる必要があるのではないかと。

A 企画調整部長
議員ご指摘のとおり、避難所における良好な生活環境の確保、避難生活に対する支援の強化に向けて取り組む。

輝く人を紹介

町のキラッと



中学生ボランティアが大活躍！

豊山中学校の生徒31人が、健康福祉フェスティバルのボランティアに来てくれました。

なぜ、ボランティアに応募したのか。インタビューしました！



去年も応募しました。自分は人見知りだけど、お客さんが楽しそうに話してくれるのが楽しかったから今年も応募しました。



友達のお母さんさんから誘われました。参加してすごく楽しかった。



初めは不安だったけど、係の人が優しく教えてくれて不安も吹っ飛びました！



自分の生まれた町に貢献したかった。案外楽しいです。参加して良かった！

ボランティアをやったことがなかったから、こちら側を体験したかった。いろいろな人と関われるからやって良かった。



友達に誘われたから参加しました。
ボランティアを一度やってみたかった。楽しいです。



編集後記

今年も子ども議会を開催しました。子どもたちには、議会の仕組みなどを勉強してもらい、率直な疑問に私たちが寄り添い、一緒に原稿を仕上げました。私が気付かないような子ども目線の疑問に驚かされることもありました。

本番では、皆さん元気に質問をして、町長や教育長・担当部長から答弁をもらい、嬉しそうでした。

是非、特集ページ（P2・3）をご覧ください。子ども議会への参加が町づくりと町政に関心を持つきっかけになることを期待しています。

岡島 剛

広報編集委員

委員長 岩村みゆき
副委員長 作野 桂子
委員 岡島 政信
岡島 剛
岩下 竜也

年賀状などの挨拶状の禁止

議員は選挙区内の方に、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞いなどの挨拶状を出すことを禁止されています。
ご理解をお願いします。

次回定例会の予定

12月 2日(月) 開会・議案説明
9日(月) 一般質問
10日(火) 議案質疑
11日(水) 福祉建設委員会
総務文教委員会
12日(木) 予算決算特別委員会
16日(月) 討論・採決・閉会

開始時間は午前9時30分から(総務文教委員会と最終日は午後1時30分から)です。
議事の都合により、日程が変更になる場合があります。